鶴川メンネルコール

Tsurukawa Männer Chor

創設20周年記念演奏会

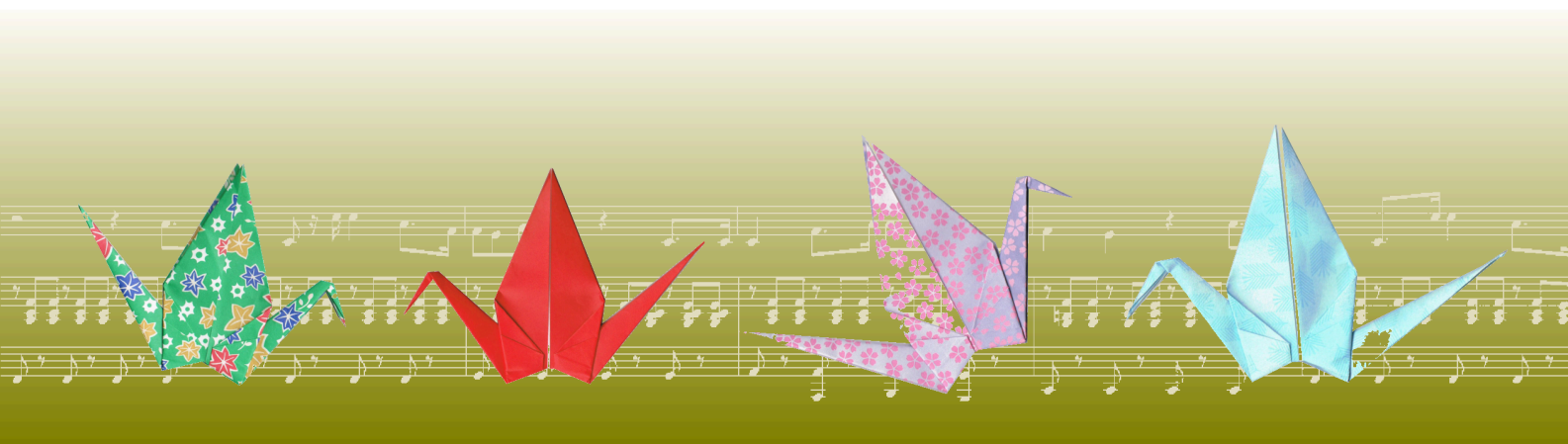
（第17回定期演奏会）

2026年11月27日（金）

13:00 開場　13:30 開演

会場：和光大学ポプリホール鶴川

後援　町田市合唱連盟　鶴川二丁目団地組合



祝　辞

鶴川二丁目自治会
会　長　北川　もと

鶴川メンネルコールの創設10周年おめでとうございます。

自治会のサークルとして産声をあげてから10年、お仲間も増えて立派な合唱団として成長を続けている事に心からお祝い申しあげます。

毎週一回、３時半から６時という、主婦の入りこめない時間を活用して練習に励んでいらっしゃいますが、三々五々集ってこられる皆さんの姿の生き生きしていること！すてきなお仲間とよき指導者と共にこれからもコーラスを楽しみ、ますます若やいでください。

男声コーラスの深みのある演奏を楽しみにしています。

ご挨拶

鶴川メンネルコール代表　山田貞雄

本日は鶴川メンネルコールの定期演奏会にお越し頂きまして誠に有難うございます。

２００６年に故早川勝先生のお声がかりで発足してから、今年は２０年目となりました。これまでに皆さまからいただいた暖かいご支援に心から感謝申し上げます。

２０２０年１２月に早川先生が思いもかけず急逝され、コロナ禍の中でもあり、方向を見失った時期もありました。幸い前指導者の志を継ぐ竹村繁樹さんにご指導をいただけることになり、今日に至っております。

今日は、皆様と御一緒に楽しい時間を過ごすことができれば幸いです。

出演者の紹介

指　揮　竹村繁樹
ピアノ　鶴谷祐子

トップテノール	セカンドテノール	バリトン	バス
山﨑健司	岡本 修	牛島興成	田邉 充
池田勇五	板垣輝司	神田成栄	奥村紀夫
福本 博	井田耕治	鶴谷文彦	山田貞雄
柿谷 均	奥田耕治	稲留偉智	

Program

Ⅰ：デューク ・エイセス 「にほんのうた」ステージ

長崎オランダ坂をのぼろう（長崎）	作詞：永六輔　作曲：いずみたく　編曲：宇多好生
君の故郷は（東京）	同上
いい湯だな（群馬）	同上
初恋の人は（佐賀）	同上
みすずかる（長野）	同上
十和田の底に（青森）	同上

Ⅱ：珠玉のアカペラ挑戦ステージ

雨後	作詩：三好達治　作曲：多田武彦
春を待つ	作詩：伊藤　整　作曲：多田武彦
梅雨の晴れ間	作詩：北原白秋　作曲：多田武彦
夢みたものは	作詩：立原道造　作曲：木下牧子
鴎	作詩：三好達治　作曲：木下牧子

--- 休　憩 ---

Ⅲ：創設２０周年記念ステージ

合唱団の成り立ち（２００６年の創設から、早川勝先生の紹介）
団員とスタッフの紹介
竹村先生のソロ（ピアノ伴奏付き、例　落葉松）
カルテット１（例　小夜曲）
カルテット２（例　ともしび、北帰行　の中から１曲）
ピアニストの紹介（鶴谷祐子　「であうまち」　鶴川メンネルコールの合唱）
みんなで歌おう！（赤とんぼ、四季の歌、小さい秋みつけた、花のカノン　から２曲）

Ⅳ：もっとうまく歌いたい愛唱歌ステージ

U-Boj	作曲：イヴァン・ザイツ　コール・パッカーズ版
夜明けのうた	作詞：岩谷時子　作曲：いずみたく　編曲：宇多好生
琵琶湖周航のうた	作詞：小口太郎　作曲：吉田千秋　編曲：宇多好生
行け我が想いよ、黄金の翼に乗って	作曲：G.ヴェルディ
上を向いて歩こう	作詞：永 六輔　作曲：中村八大　編曲：源田俊一郎

鶴川メンネルコール20年の歩み

- 鶴川メンネルコールが誕生したのは2006年10月でした。鶴川二丁目団地在住の指揮者早川勝先生が自治会に働きかけ、自治会活動の一環として合唱団を結成し、はじめは4名でスタートしました。
- 2007年から徐々に団員数も増え、演奏会で合唱を披露する機会も増えてきました。自治会主催の敬老会への出演やミニコンサートと称する定期演奏会の開催は、毎年恒例の行事になりました。2009年以降は町田市合唱祭への参加も恒例になりました。
- 同じく2009年以降、マイウェイという男声合唱団の一員として、東京男声合唱協会主催の演奏会に出演するようになりました。マイウェイは早川先生が指導しておられた4男声合唱団が合同で構成する合唱団で、多人数のハーモニーを楽しむ機会を与えてくれました。2015年、小田急沿線4男声合唱団交歓会への加入を勧められて初参加しました。その結果、5男声合唱団交歓会と名称変更になり、2018年にはその幹事団体を勤めました。
- その後2019年まで、鶴川メンネルコールは団員20名を超すまでに成長し、福祉施設でのボランティア演奏の機会も加わりました。しかし、2020年コロナ禍の始まりとともに、演奏はすべて途絶えてしまいました。そしてそのさなか、早川先生が病に倒れ、お見舞いも叶わない中、12月16日に他界してしまわれました。
- 2021年は、突然指導者を失い方向を見失った時期でしたが、幸い竹村繁樹先生が多忙な教員生活にも関わらず、後任に名乗りをあげてくれました。その新指揮者のもとで、2021年12月11日に早川先生追悼演奏会をいずみ浄苑の墓前で執り行い、翌2022年には久しく途絶えていた定期演奏会を再開しました。この演奏会では第2ステージを早川先生に捧げ、先生が作曲された3組曲からの抜粋を演奏しました。
- 2023年から、コロナ禍の影響を徐々に脱して、今日に至っています。昨年から新しく加わった団員の奥様、鶴谷祐子様にピアノ伴奏をお願いできることになりました。それまでアカペラだけでしたが、現在はピアノ伴奏の合唱曲も演奏に加えることができるようになりました。
- 今年2026年は、6月15日に小田急沿線5男声合唱団交歓会の幹事団体を勤め、つい先日11月8日には町田市合唱祭に参加したばかりです。そして今日20周年記念演奏会を迎えることができました。
- この20年を振り返り、これまでに皆さまからいただいた暖かいご支援に心から感謝申し上げます。

歌う仲間募集

一緒にハーモニーを楽しみませんか　経験は問いません

毎週木曜日　pm3:30～6:00

練習場所　鶴川二丁目住宅管理組合集会所

会費　2000円/月　入会金　1000円

連絡先　042-735-6275 山田

https://www.tsurumen.net

ステージの解説・曲目解題

Ⅰ：デューク・エイシス「にほんのうた」ステージ

オランダ坂をのぼろう（長崎）
「オランダ坂をのぼろう　港を見下ろそう・・・」「オランダ坂の二人は　腕組み肩ならべ・・」長崎の観光スポットを歌い、最後は「ちゃんぽん」でしめます。

君のふるさとは（東京）
「教えてくれ君の故郷を　聞かせてくれ・・」全国各地方からの出身者には、夫々の故郷があります。「しおざい せせらぎ 青い海 深い森」等々郷愁を覚える言葉の数々。

いい湯だな（群馬）
解説不要でしょう。一緒に温泉に浸った気分で、八木節や浪花節をうなりませんか。

初恋の人は（佐賀）
「初恋の人は　壱岐つしまへだてて・・・」「別れていくとせ　今からつの浜・・・」「初恋の　人は 玄界灘のはて・・・」と、ヤマタイの昔をを想い懐かしむ歌。

みすずかる（長野）
「みすずかる信濃の国の・・・」　と、信濃の風景・風物を愛でる歌です。

十和田の底に（青森）
「にほのうた」シリーズの記念すべき第一作。冷たく澄み切った十和田湖の思い出。

Ⅱ：珠玉のアカペラ挑戦ステージ

雨後
「一つまた一つ雲は山を離れ夕暮れの空に浮ぶ」誰にでも思い出のある風景。「山は新緑の襟をただし」「杉の林に発電所の灯がともる」等々詩人の表現が新鮮です。

春を待つ
「ふんわりと雪の積もった山かげから、冬空がきれいに晴れ渡っている」北海道の冬、春がちらりと顔をみせるが、まだまだ遠い・・・そんな季節です。

梅雨の晴れ間
「まわせまわせ水車」というフレーズが繰り返されます。梅雨の晴れ間の田舎芝居の設営に、灌漑用の足踏み水車が大活躍。隈取りを塗った役者が見えを切って歩いていく花道の下でも水車がまわっている・・。村人総出で田舎芝居を楽しむ雰囲気が伝わります。

夢みたものは
「夢みたものは一つの幸福、願ったものは一つの愛」ではじまり、静かな村の生活、娘たちの歌や踊りに触れて、最後は「それらはすべてここにあるよ」と歌って終わります。

鴎
「ついに自由は彼らのものだ」というフレーズが繰り返されます。自由に空を飛ぶ鴎の姿に、戦争で失われ今ようやく自由を得た若者たちの魂を重ねています。深い鎮魂と祈りがこめられています。

ステージの解説・曲目解題（続き）

Ⅳ: もっとうまく歌いたい愛唱歌ステージ

U-Boi

「ウ　ボイ」はクロアチアの作曲家ザイツの作曲。戦いに赴く兵士を描いた合唱曲。大学のグリークラブをはじめ、多くの男声合唱団で演奏される定番曲として広く親しまれています。

行け、我が思いよ、黄金の翼に乗って

ヴェルディーの歌劇「ナブッコ」の中で歌われる曲。イタリア第二の国歌とも称されます。この曲は10周年記念演奏会でも歌いました。その時は日本語でしたが、今回はイタリア語に挑戦します。
第17小節まではユニゾン（4部とも同じ旋律）で歌います。バビロンの地に捕らえられ、過酷な奴隷生活を送るヘブライの民が、故郷の美しさと失われた祖国を偲びます。その想いが段々高ぶってきて、第17小節から合唱になります。第29小節からまたユニゾンに戻って「苦しみに耐える勇気を目覚めさせよ」と悲痛な祈りとなって終わります。

みんなで歌いましょう

花のカノン　　**（未定）**

1．春の花みつけた
　タンポポを見つけた
　春の風に揺れて
　嬉しそうにしてた

2．夏の花見つけた
　ひまわりを見つけた
　高く背伸びをして
　雲と話してた

3．秋の花見つけた
　コスモスを見つけた
　垣根を乗り越えて
　通る人をみてた

4．冬の花見つけた
　蕗のとう見つけた
　白い雪の下で
　じっと我慢してた

作詩　ともろぎゆきお
作曲　峯　陽